

まえがき

セラミックスにおける科学・技術の進歩はきわめてめざましく、日進月歩の発展をしてきている。かかる折、文部省による教育課程の基本方針ならびに学習指導要領が改訂され、技術的実践力を学ぶ実習は工業教育のなかでいっそう重要な役割を果たすことが要望されている。本書はこうした時代の要請に応えたセラミック教育ができるように、既刊副読本「窯業実習」を大幅に改訂し、新たに「セラミック実習」として編集したものである。

内容としては、従来のセラミック技術の学習を基盤としながらも、化学分析や計測の基礎にもふれ、新たに機能性セラミックスや構造用セラミックスの試作、ニューガラスの技術および試作、それらの評価法としての計測実習などが加えられている。また計測実習においては、既刊副読本「窯業計測」が廃刊されたので、本書における計測実習の章をより充実させた。

本書は、主として工業高等学校におけるセラミック実習の副読本として使用されるものであるが、職業訓練校および企業内教育などにおけるセラミック教育用教材としても広く利用され、役立てていただけることを期待している。また内容については、意に満たないところも多々あることと思われるが、読者諸賢の忌憚のない御教示をいただき、さらに充実した読本としていきたい。

なお、本書の執筆は全国高等学校セラミック科教員の方々の御協力によってなされたものである。また編集にあたっては、多くの方々から絶大なる御援助をいただいた。ここに、関係各位の御尽力に対し深甚の謝意を表したい。

平成5年3月

日本セラミックス協会
教育委員会